

住民意向調査速報版（双葉町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、双葉町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

双葉町

調査主体	復興庁、福島県、双葉町
調査対象	世帯の代表者（3,128 世帯）
実施期間	令和 7 年 10 月 27 日～11 月 11 日
回答者数	918 世帯（回収率 29.3%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先 （制度班）担当：高藤、松岡 電話：03-6328-0250（直通）

双葉町調査結果のポイント

- ・将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、双葉町の共同調査は14回目。

(1) 帰還の意向

すでに双葉町に戻っている	3.9% (2.6%)
戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	14.8% (14.0%)
まだ判断がつかない	24.6% (25.3%)
戻らないと決めている	52.8% (53.3%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R6.10)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療・介護福祉施設の再開や新設	46.5% (48.9%)
住宅の再建に関する支援	21.7% (21.8%)
商業施設の再開や新設	19.5% (24.8%)
双葉町の今後の姿	19.5% (16.9%)
上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報	15.5% (13.0%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから	55.7% (52.0%)
すでに自宅を解体してしまっているから	44.9% (45.2%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	36.3% (34.2%)
医療環境に不安があるから	34.0% (33.7%)
介護・福祉サービスに不安があるから	19.8% (19.8%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答